



2013. 1 No.204

# 岡放技ニュース

MAIL: oart@oka.urban.ne.jp

社団法人 岡山県放射線技師会

〒700-0867 岡山市北区岡町 16-10-201

TEL 086-235-1313 FAX 086-235-1515

URL: http://www.oka.urban.ne.jp/home/oart/

発行責任者 藤田 仁 編集者 編集委員会

## 飛躍の年を迎えて

会長 藤田 仁

新年あけましておめでとうございます。新年には、「迎春」、「初春」という季語もあり、なんとなく希望あふれるイメージがあります。今年も頑張ろうという気持ちになるから不思議です。

昨年は、山中教授のノーベル賞受賞、竹島、尖閣諸島の領有権問題、年末の衆議院の解散・総選挙等、様々な出来事がありました。特に、山中教授のノーベル賞受賞は、明るい話題として、震災復興にかける東北の人たちに大きな励ましとなりました。万能細胞であるiPS細胞は、再生医療や新薬開発の切り札として、多くの病める人たちの救世主となることは間違いないと思います。しかしその反面、生殖等の倫理面にも注意が必要であり、その取扱いには慎重さが要求されます。私たちは、その研究・発展に期待すると同時に、倫理面にも注意を払っていききたいと思います。

さて、公益社団法人日本診療放射線技師会では、中澤会長の強いリーダーシップの下、一步ずつですが改革が行われています。その一つに業務拡大があります。静脈注射の抜針ですが、今年はわが岡山県でも講習会を実施したいと思っています。また、注腸検査におけるカテーテルの挿入、空気・バリウムの注入も可能となりました。法的にも、この2月の通常国会で通過する見通しです。その他として、技師法の改正問題があります。「医師の具体的指示」を「医師の(包括的)指示」に、また、「疑義照会」を盛り込む等の改正を目指しています。業務拡大は、私たちの仕事の範囲を増やすことであり、重要なことですが、その反面、責任問題が生じてきます。そのためには、EBMに則った業務拡大が重要となります。業務拡大を問題なく行うためにも、各地で行われている講習会には、ぜひ参加していただきたいと思います。

わが社団法人岡山県放射線技師会も、4月には、公益社団法人として新しい船出をする予定です。公益社団法人となれば、今まで岡放技としてやってきた公益事業が、ますます輝きを増すこととなります。私たちはその誇りを胸に、診療放射線技師として輝いていきたいと思っています。この一年、よろしくお願い致します。



事務所開所時間: 月・火・木・金 10:00~14:00 水 10:00 ~12:00

## 会

## 告

平成25年 1月 1日

会員各位

社団法人 岡山県放射線技師会

会長 藤田 仁

## 平成 2 4 年度第 2 回 臨時総会のお知らせ

社団法人岡山県放射線技師会定款第 16 条ならびに第19条により、平成24年度第2回臨時総会を下記日程で開催いたします。

万障お繰り合わせの上ご出席くださいますようお願い致します。

## 記

日時 平成25年1月27日(日)11:10 ～ 12:00

会場 岡山赤十字病院 センター棟 4 階 研修室

〒700-8607 岡山市青江 2-1-1 TEL 086-222-8811

## 議題

## i) 平成 25・26 年度役員選挙

※ 移行の登記を停止条件とする。

※ 今回は、特例民法法人が、移行と同時に就任する最初の代表理事及び業務執行理事、監事を選任した場合には、当該役員等の任期の起算点は、選任行為時ではなく、移行の登記日となります。

## ii) 定款(案)変更の承認

附則 2. 本会の最初の会長は、藤田 仁とする。



(選挙結果により変更する必要がある。)

附則 2. 本会の最初の会長は、〇〇 〇〇とする。

業務執行理事は、◎◎ ◎◎、●● ●●、□□ □□、△△ △△とする。

(業務執行理事とは、会長、副会長、常務理事)

## iii) その他

以上

## 公

## 示

平成 24 年 12 月 4 日

社団法人 岡山県放射線技師会

平成 24・25 年度選挙管理委員会

委員長 赤 木 憲 明

委員 池 長 弘 幸

田 原 義 成

萬 代 圭 悟

谷 口 顕 士



平成 24 年 9 月 25 日付にて告示しました平成 25・26 年度社団法人岡山県放射線技師会の役員選出選挙に対し、指定期日(平成 24 年 10 月 27 日)までに下記の立候補および推薦届が提出されましたので、ここに受理したことを公示いたします。

## 会 長 (定数 1 名)

推薦候補者	藤 田 仁	15514	草加病院
-------	-------	-------	------

推薦者	森田 学	38663	草加病院
-----	------	-------	------

## 副会長 (定数 2 名)

推薦候補者	田 原 誠 司	21639	岡山大学病院
-------	---------	-------	--------

推薦者	北山卓一	16944	岡山大学病院
	大野誠一郎	26528	岡山大学病院
	稲村圭司	16947	岡山大学病院

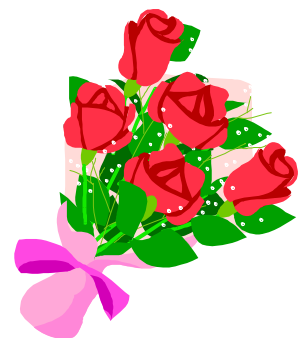
立候補者	小 畑 慶 己	20679	国立病院機構呉医療センター・中国がんセンター
------	---------	-------	------------------------



## 監 事 (定数 2 名)

推薦候補者	北 山 卓 一	16944	岡山大学病院
推薦者	大野誠一郎	26528	岡山大学病院
	田原誠司	21639	岡山大学病院
	稲村圭司	16947	岡山大学病院

立候補者	森 岡 泰 樹	08700	岡山赤十字病院
------	---------	-------	---------



## 理 事 (定数 10～15 名)

候補者

第 1 ブロック	大 野 誠一郎	26528	岡山大学病院
第 2 ブロック	藤 下 好 弘	22142	岡山市立岡山市民病院

(立候補・推薦者)

田原誠司 他 2 名

大枝嗣人



事務所開所時間: 月・火・木・金 10:00～14:00 水 10:00～12:00

第 3 ブロック	岡 本 昌 之	21204	倉敷中央病院	清川文秋 他 2 名
第 4 ブロック	小 林 有 基	24644	岡山済生会総合病院	渡辺庄一
第 5 ブロック	松 本 浩 二	38471	竜操整形外科病院	立候補
第 6 ブロック	矢 原 謙 治	32006	備前市立日生病院	藤田仁
第 7 ブロック	武 田 典 之	23102	玉野三井病院	立候補
第 8 ブロック	三 村 浩 朗	22431	川崎医科大学附属病院	柳元真一
第 9 ブロック	近 藤 義 昭	16314	倉敷リバーサイド病院	立候補
第 10 ブロック	池 田 茂 良	24695	笠岡市立市民病院	立候補
第 11 ブロック	国府島 昌 之	31226	長野病院	立候補
第 12 ブロック	光 岡 由 企 夫	45301	津山中央病院	伊田和司
会長推薦	新会長が正会員の中から 0～3 名を推薦することができる			

### 役員選任規定(抜粋)

第2条 2 会長・副会長・監事は総会において選挙される。

3 理事は、岡山県の各ブロックより選任または会長推薦により選任できる。

ただし、総会において承認を得る。

第7条 3 理事は、総会の承認を得て会長名の委任状により当選したものとみなす。

第8条 候補者が役員定数を越えないときは、無投票で当選を決めることができる。

ただし、この場合は、会長のみ信任投票をおこなう。

上記の規定により、平成 25 年 1 月 27 日(日)(予定)の

平成 24 年度第 2 回臨時総会において会長は信任投票を行います。

(当日通常総会を欠席される予定の方は、岡放技ニュース No.204 (12.1 月合併号)に同封される

役員選任に関する委任状の御投函をお願いします。)

副会長・監事は無投票当選とします。

各ブロック理事は総会で承認していただきます。

会長推薦理事は新会長決定後、新会長が正会員の中から推薦し、  
推薦された正会員の了承を得た後、総会で承認をしていただきます。

以上

**同封の総会出欠確認はがき(兼・委任状)は、  
2013 年1月18日(金)までに  
必ず投函してください。**

# 会 告

## 第 94 回コメディカル研修会

会 名 : 岡山県生活習慣病検診等管理指導協議会平成 24 年度第 3 回肺がん部会 CT 研修会

日 時 : 平成 25 年 1 月 27 日 (日) 9:30~16:10 (9:00 受付開始)

場 所 : 岡山赤十字病院 センター棟 4 階 研修室  
〒700-8607 岡山市北区青江 2-1-1 TEL 086-222-8811

主 催 : (社)岡山県放射線技師会

会 費 : 無料

※コメディカル研修会には日本放射線技師会社会活動カウントが付与されます。

※岡山県肺がん精密検診機関の届出基準を満たすための研修会を開催します。

肺がん部会 CT 研修会の参加証明書を発行します。

※駐車場は無料です。駐車券を受付まで持参してください。

### -プログラム-

#### 【肺がん部会CT研修会】9:30~10:00

講演 1 「楕円錐型ファントムを用いた CT-AEC の検討」 岡山大学病院 森光祐介 先生

講演 2 「異なる CT 装置による肺野の画質の検討」 岡山大学病院 沖田隆紀 先生

特別講演 10:00~11:00

「アスベスト関連肺胸膜病変の画像診断」

岡山大学病院放射線医学教室 加藤勝也 先生

#### 【平成 24 年度 臨時総会】11:10~12:00

公益法人取得のための臨時総会を開催します。

役員選挙がありますので多数の参加をお願いします。

#### 【ランチョンセミナー】12:10~12:50

「CALNEO を支える技術と被ばく線量低減の可能性について」

富士フィルムメディカル株式会社 MS 部 商品化グループ 網本 直也 先生

先着50名とさせていただきます、研修会受付時より整理券を配布します。

#### 【特別講演】13:00~14:00

「岡山県ドクターヘリによる救急医療の現状」

川崎医科大学救急医学准教授

荻野隆光 先生

#### 【救急法講習会】14:10~16:10

日本赤十字社岡山県支部指導員の方による心肺蘇生法を中心に実技講習会を開催します。

動きやすい服装でご参加ください。



事務所開所時間: 月・火・木・金 10:00~14:00 水 10:00 ~12:00

## 会

## 告

第 4 回 OT<sup>3</sup> コラボセミナー(Okayama Technologists Cubic)

会 名：第 4 回 OT<sup>3</sup> コラボセミナー(Okayama Technologists Cubic)

日 時：平成 25 年 1 月 12 日(土) 14:30～16:40 (受付:14:00～)

場 所：倉敷中央病院 外来棟 3 階大原記念ホール

倉敷市美和 1-1-1

主 催：(社)岡山県放射線技師会、(社)岡山県臨床検査技師会、(社)岡山県臨床工学技士会

後 援：岡山県、山陽新聞、岡山県病院協会、岡山県看護協会

参加費：無料(会員以外の方もご参加いただけます)

駐車場：できるだけ公共交通機関をご利用ください。

お車の場合は乗り合わせてご来場ください。無料駐車券を受付にてお渡しします。

さて、今年も医療技術団体が合同で主催する「OT<sup>3</sup> コラボセミナー」を開催します。今年で 4 回目となります。テーマは「医療安全を考える～みんなで守ろうやあ！患者さんの安全～」と題しまして、下記の日程で皆様とともに、「患者さんに対し安全な医療を提供するには、どのようにすれば良いか？」をご発表いただき、他職種からの視点も交え考えて参りたいと存じます。

つきましては、皆様お誘い合わせの上多数ご参加いただきますようご案内いたします。

## プログラム

テーマ「医療安全を考える～みんなで守ろうやあ！患者さんの安全～」

総合司会 川崎医科大学附属川崎病院 西江和夫

開会挨拶

岡山県臨床工学技士会会長 田中昭彦

【基調講演】 14:35～15:30

医療安全を捉え直す～医療の質・安全管理のための新たな手法～

星城大学 経営学部 教授 北野達也 先生

【シンポジウム】 15:40～16:40

司会 川崎医科大学附属病院 小野淳一

国立病院機構呉医療センター・中国がんセンター 小畑慶己

1. 「院内感染対策における臨床検査技師の役割

ーいかに感染管理情報をフィードバックするかー」

川崎医科大学附属病院 中央検査部主任検査技師 河口豊 先生

2. 「中央放射線部の医療安全に対する取り組み」

川崎医科大学附属病院 中央放射線部技師長 柳元真一 先生

3. 「医療機器安全管理への取り組み」

西神戸医療センター 臨床工学室主査 加藤博史 先生



事務所開所時間：月・火・木・金 10:00～14:00 水 10:00～12:00



## 4. 総合討論

閉会挨拶

岡山県臨床検査技師会会長 岡田健

表彰

地域医療事業功労者表彰受賞  
おめでとうございます

会員の方が地域医療事業功労者表彰を受賞されました。

この度受賞されました会員は、長年にわたり診療放射線技師として地域医療に貢献されました。この度の受賞に際し心からお祝い申し上げますとともに、益々のご活躍をお祈り致します。

受賞日：平成 24 年 10 月 11 日（木）

受賞場所：岡山市勤労者福祉センター

## 【岡山市保健所長表彰】

菅田 照也 会員 （岡山旭東病院）



菅田 照也 会員

受賞日：平成 24 年 10 月 18 日（木）

受賞場所：岡山県真庭地域事務所

## 【真庭保健所長表彰】

松原 英明 会員 （落合病院）



松原 英明 会員

受賞日：平成 24 年 11 月 1 日（木）  
受賞場所：くらしき健康福祉プラザ

【倉敷市保健福祉功労者市長表彰】

武政 洋 会員 （倉敷中央病院）



武政 洋 会員

会員の声

今回の「会員の声」は津山中央病院にご勤務されている藤田 善彦会員からご寄稿いただきました。ありがとうございました。

シリーズ 《会員の声》 No.10

## 初めての学会発表

津山中央病院 藤田善彦

10 月 27 日、28 日に愛媛の松山市総合コミュニティーセンターで開催された中四国放射線医療技術フォーラムに行きました。去年の中四国放射線医療技術フォーラムにも参加しましたが、今年は演者として参加しました。しかも、今回が初めての学会発表でした。

僕の発表は 2 日目で、1 日目には津山中央病院の他の 2 人の発表がありました。2 人とも堂々と発表して、質問にもきちんと答えることができていて、すごいなと思いました。それと同時に、明日は自分も発表する側だと思うと少し不安にもなってきました。それでも 1 日目は、他の人の様々な発表を聞くことができて、とても勉強になりました。夜は情報交換会にも参加して他の病院の人達と話をすることができ、有意義な時間を過ごすことができました。

2 日目になりました。僕の発表は 12 時からだったので、それまでは他の人の発表を聞きに行きました。しかし、自分の発表のことで頭がいっぱいだったので、ほとんど耳に入りませんでした。そして、僕の発表の時がきました。発表の内容は、頭部 CTA に心臓 CTA で開発された Test Bolus Tracking 法を用いて、動脈の造影効果を維持したままいかに静脈の描出を抑えられるか検討を行ったものでした。制限時間の 7 分を過ぎないように練習どおりスムーズに話すことを心がけました。制限時間は数秒ほど過ぎましたが、なんとか終わりその後、いくつか質問やご指摘を頂いて僕の発表は終わりました。

初めての学会発表は大変でしたし、反省点もありますが、とても貴重な体験をすることができました。発表した分野の知識や理解を深めることもできたし、発表を聞いてもらうことによって、自分では気づかなかったことも知ることができました。これからもなにかテーマを見つけ、機会を与えられたら発表したいと思います。



## 参加報告

## レントゲン週間イベントに参加して

赤磐医師会病院 船山 麻弓

レントゲン週間イベントが平成24年11月4日に岡山駅「つどいの広場」で開催されました。今回はパネル・ワークステーション・マンモグラフィ撮影装置・乳がん触診模型の展示、被ばく相談を行い、約350名の参加がありました。

レントゲン週間のイベントは放射線や診療放射線技師を一般の方に知ってもらうための大切なイベントです。岡山駅という場所で先を急ぐ人が多い中、立ち止まって関心を示して頂けた事を嬉しく思います。

今回のレントゲン週間のイベントで触診模型の説明を担当しました。約50名の方に体験して頂くことが出来ました。中学・高校生の参加があり、関心を示してくれた事に驚きました。ご本人には早いので、ご家族の乳がん検診受診を勧めました。ご夫婦での参加もあり、自己検診の重要性を説明しました。ご高齢の方の中には、乳がんにならないだろうという認識をされている方がいらっしゃいました。乳がんは高齢になっても発生するので、気をつけて頂くように声をかけました。乳房に発生する病変は乳腺に存在するので、表面だけではなく奥までしっかり触ってもらう事を理解して頂くのが大切です。自己触診の方法を説明しながら、実際に触診模型で病変の位置を確認してもらいました。体験した方の反応を見ると、思った以上に奥にあるというアクションが多かったように感じました。若い方は乳腺が多く、触っても自分ではよく分からないという事を言われていました。乳腺が脂肪に置き換わっている方も、乳房の奥まで触診しようと言われていました。参加者には、乳がんの出来やすい領域・早期発見の重要性を説明し、乳がん検診の受診を勧めました。岡山県の乳がん検診受診率は約20%です。受診率向上に少しでも約に立つ事が出来れば良いと思います。

日常の業務以外で一般の方と放射線や放射線技師の業務についてお話しをする機会は少ないと思います。レントゲン週間のイベントに参加して、改めて大切だと感じました。



マンモグラフィ展示の様子



ワークステーション・パネル展示の様子



測定機器説明の様子



参加された会員の方々

## 参加報告

## 乳がん検診無料体験に参加して

倉敷中央病院 小林 美耶子

11 月 10 日(土)に倉敷中央病院で行われた乳がん検診無料体験にスタッフとして参加させていただきました。「乳がんから女性を守ろう」というテーマのもと、医療放射線パネルの展示や乳房ファントムを用いて自己検診の手技の説明などのほか、一般公開講座では、倉敷中央病院外科部長の今井史郎先生に「倉敷中央病院における乳がん治療の動向」、乳がん患者会あけぼの岡山副代表槌田史子さんに「乳がんを経験して」という講演をいただきました。

乳がんは今では 16 人に 1 人の確立で罹患するといわれており、40 歳前後のピークの後もう 60 代あたりで罹患率が上がっており、最好発年齢を過ぎてもまだまだ油断できないことや、親が乳がんだと 2 倍、片側にできた人は 5~6 倍の確率で反対側も乳がんになりやすいこと、閉経後太った人などがかかりやすいことなど、改めて乳がんの現状を知ることができました。槌田さんの講演の中で私が日常業務で行っている MMG について「優れものですよ、使わない手はないでしょ？せっかくですからほんのちょっとした時間我



挨拶する藤田会長



模擬体験をする来場者

慢してしっかり撮ってもらいましょう。痛むまでやってくれる技師さんほど実は私たちのことを考えて検査してくれている技師さんですよ。」と言っていて、とてもうれしく励みになりました。「検診を受けるのは自分のためだけではなく、自分の大切な人のためでもあります。次回検診に行くときにはぜひ大切な人を連れて一緒に受けに行ってください。日常検診ですよ。」とご自身の体験を交えながら検診の大切さを伝えてくださいました。

その後保険管理センターに場所を移し、事前申し込みがあった方の無料検診が行われました。20 名の定員に対し、40 歳以上で MMG 未体験など対象を制限したためか受診者は 7 名でした。触診、MMG 撮影を実際に体験していただきました。思ったほど痛くなかったし、医師も技師も女性なので安心して受けられたと感想をいただきました。

とても勉強になる講演で、もっと多くの方に聞いていただきたかったですが、今回の参加者は約 30 名でした。終了後検診を受けたことがない人に興味を持ってもらい検診に来てもらうためにはどうすればいいか話し合いが行われ、好発年齢の女性が行きそうなスーパーなどに掲示させてもらう、折込みチラシを利用するなどの案が挙がりました。時間がない、めんどろという理由で検診に行かない人に対して、講演・体験を含め 3 時間ほどかかる今回のような会だけでは多忙な主婦層を集めるのは少し難しいと思うので、何かいい方法はないでしょうか？被曝、



講演会場の様子



問診、結果の説明などなどたくさん問題はありますが、買い物帰りにお試し感覚で MMG を体験できるような機会を作ることができれば理想的だと思います。啓蒙活動の大切さとともに難しさも実感し、貴重な体験をさせていただきましたありがとうございました。

## 第 7 回全国 X 線撮影技術読影研究会の参加報告

### 参加報告

日時:平成 24 年 8 月 25～26 日

場所:倉敷市民会館(倉敷市)

#### I. 教育講演

「各種撮影法の見直し」…元日本放射線技術学会長 川村義彦 先生

「難しい撮影も目線を変えて簡単に」…元九州大学医学部附属病院 榊和宏 先生

「肺がんと肺炎の画像を読影する」…愛媛県立新居浜病院 原正和 先生

「骨格筋と裂離骨折について」…元岐阜医療科学大学教授 市川秀男 先生

「どんどん使おう教科書技術本に載ってない撮影法(裂離骨折の画像を読影する)」

…(医)社団久和会立花病院 矢野雅昭 先生

「腹部単純X線画像で診る急性腹症」…九州大学病院 加藤豊幸 先生

「デジタル時代の撮影技術を考える」…東京女子医科大学東医療センター 油原俊之 先生

「骨盤骨折を読む」…奈良県立医科大学附属病院 安藤英次 先生

#### II. ワークショップ「救急撮影を考える」…5 演題

#### III. 会員による研究発表…7 演題

#### <内容>

X 線撮影を主体とした研究会であるが、代表世話人の市川氏は、モダリティに縛られない広い視野で診療放射線技術を探求する会議を目指している。

各教育講演は、諸先生方のご経験に基づく撮影理論、読影・診断における考え方をまとめたものである。市川氏の講演は各筋腱と裂離骨発生の機序がまとめられており、X 線検査のみならず、MRI など他のモダリティの読影に応用できる。たとえば腰椎横突起は大腰筋を介して大腿骨小転子へ結合しており、大腰筋の牽引によって骨折が発生することなどである。また、同氏は診療放射線技師による読影レポート作成を推進しており、冒頭で X 線撮影検査においても読影レポート作成の必要性を提案している。

ワークショップ「救急撮影を考える」は、画像処理関連 2 題、リスクマネジメント 2 題、その他 1 題の構成であった。特に CR の画像処理において直流成分を抑えた交流成分を主体とする画像作成法に興味を寄せられた。また、胸部ポータブル撮影においては、グリッド使用の提案があった。ポータブル撮影におけるグリッドの使用については議論が分かれるところであるが、出席会員間においてはグリッド使用を検討している施設が複数見受けられた。

会員による研究発表においては、『股関節 False Profile』、『踵骨撮影用補助具』、『腰椎 PA 撮影』、『人工膝関節における Twist Angle』、『膝関節』、『腓骨 ATFL-view』に関する X 線検査の報告があった。湯山氏(育和会記念病院)による腰椎 PA 撮影を推奨する報告が特に印象的であった。椎間板腔の観察においては正面像および斜位像においても X 線の放射性を利用して PA 撮影の方が良い。

日常業務において X 線撮影に限らずルーティンワークに囚われている分野は多く、より良い撮影手技の導入に踏み切れないあるいは導入完了までに時間がかかる傾向がある。本会議のサブタイトルは“伝えてゆくべき撮影技術 III”であったが、柔軟な考え方と十分な議論の下、諸先輩方によって築きあげられた文化を決して鵜呑みにせず積極的に打破することも、現代の診療放射線技師に課せられた責務であると考えている。

(文責 金光病院 田淵 真弘)

## 参加報告

### 第 2 回診療放射線技師女性サミットに参加して

佐藤胃腸外科 谷口 美保

金木犀の香りが漂う 10 月 20・21 日、全国より約 50 名の女性技師が東京都の晴海グランドホテルに集まり、第 2 回診療放射線技師女性サミットを開催しました。岡山県技師会代表として参加いたしましたので、ご報告します。

#### 【プログラム】

##### 1 日目

- ・「女性技師と管理職 ～現職の立場から～」燕労災病院中央放射線部長岩本芳子先生の講演。
- ・7 都県(神奈川・茨城・香川・鹿児島・奈良・千葉・東京)「女性技師の会」の活動紹介。
- ・「女性の活躍促進ポジティブアクション(厚生労働省委託事業)」の紹介。  
＊ポジティブアクションとは男女労働者間に生じている差を解消しようと個々の企業が 行う自主的かつ積極的な取組のこと。



グループディスカッションの様子

##### ・グループディスカッション(3 テーマ)

A:働き続けることについての支援(技師会宣言を作ろう)、B:女性発信のネットワーク(インターネット・紙媒体を使って何ができる)、C:フリー(こんなことがしてみたい)希望のテーマを選択し、グループに分かれて話し合いをする。

##### 2 日目

- ・グループ発表(5 分間のプレゼン)
- ・NPO法人 希少難病者支援事務局(SORD:ソルド)の活動報告

私はAの働き続けることについての支援を選択し、新潟県・福井県・静岡県・鳥取県・佐賀県・高知県の方と話し合いました。「働きづらいことは何?」と問われ、「女性技師だからマンモグラフィに固定されて辛い」「職場に理解がないので子育て・介護との両立が難しい」など数々の意見が挙がりました。それらは女性共通の意見でした。これを解消するには①職場の近隣、各都道府県で女性の意見や悩みを共有するサイトや会を催し、成功例を教えてもらう。②そこから挙がった要望などを「女性サミット」で訴える。③全国規模で働きやすい職場環境整備に繋げる。つまり、働き続けるには働きづらい意見を洗い出し、それを職場→技師会→行政→職場→とフィードバックしながら支援する体制を整えてもらうという結論になりました。Aのテーマ発表は 3 グ

ループありました。その共通意見が「女性の要望だけを訴えるのではなく、男性技師とコミュニケーションをとり、より良い職場環境を作ろう」でした。夫婦や家族のようにお互い助け合い、信頼を築ければ全国どこに勤めても楽しく仕事ができる(ようになればいいな)のではないのでしょうか。

情報交換会の場となった懇親会では、女性管理職の岩本芳子さんに「女性ならではの視点で部下とコミュニケーションを持ち、いかに成長へと導くか」という普段聞くことができない興味深い話が聞けました。また、参加技師の職場事情や規模で、随分異なることもありますが、どこも同じだなと共感する話も多々ありました。

最後に、女性サミット(大規模な女子会)の参加という貴重な経験をさせていただきありがとうございました。

## 第 14 回ボウリング大会のご案内

### 案内

ボウリング大会を開催いたします。より多くの皆様へ参加していただくために、会員以外・・・

医師、看護師、薬剤師、臨床検査技師、事務、・・・の方々の参加もOKです。ご家族での参加も歓迎いたしますので、おおいに親睦をはかりましょう。

### 記

期 日 : 平成25年3月17日(日) 集合 17時00分(時間厳守) ゲーム開始 17時30分

場 所 : 両備ボウル

岡山市桑田町13-32 TEL086-231-6215

参加費 : 1,000円 (ゲーム代と景品代)

申し込み: 名前、連絡先、参加人数を明記のうえFAXまたは、メールにて下記まで申し込みください。

FAX 086-235-1515

Mail okahougi\_jimu@yahoo.co.jp

家族の方で、小学生以下の方は明記下さい。

お問合せ: 笠岡市立市民病院 放射線科

TEL 0865-63-2191 (678) 池田

Mail housyasen@kasaokacityhsp.jp

申込締切: 平成 25 年3月2日(土)

その他 : ①小学生以下のお子様はガータ防止レーンとします。

申し込み時、年齢か学年を明記ください。

②女性の方でガータ防止レーン希望の方はその旨お書き添えください

③ガータ防止レーンでない女性の方と60歳以

上の方は1ゲーム 30ピンの HDCP あり。

④1人2ゲームの合計で順位を決めます。

⑤家族での参加を大歓迎いたします。

⑥靴代(200円)は各自ご負担下さい。



## 案内

## 放射線管理士失効講習会中止のお知らせ

「放射線管理士失効講習会」を、平成 25 年 1 月 27 日に広島県で開催する予定でしたが、講師の先生の都合がつかず、中止となりました。次期開催日は、未定です。

なお、平成 25 年度の事業として、「放射線機器管理士失効講習会」を広島県で開催する予定です。

開催時期は未定です。詳細がはっきりしましたら、お知らせ致します。

## 案内

## 会費納入について

1. 平成24年度会費が未納の方は至急お振込頂きます様にお願い致します。

2. 払込用紙が行方不明の場合、郵便局備え付けの払込用紙をご利用下さい。

郵便振替口座番号 01270-2-2600

加入者名 社団法人 岡山県放射線技師会

平成 24 年度会費 8,000円

\* 必要事項を通信欄にご記入下さい \*

① 会員番号 (日本放射線技師会と同じ)

② 氏名

③ 勤務先又は自宅住所 (会誌など送付先を優先)

会費の締め切りは、毎年8月31日です。

お問合せは、事務所まで。

## 案内

## 編集委員会からのお知らせ

今回の岡放技ニュースより、印刷する号には一般の方向けの記事を掲載していくことになりました。これは編集事業も公的な事業を進めていくためであり、会誌同様に会員以外の方向けの記事を掲載させて頂きますので、ご理解とご協力の程宜しくお願い致します。



## 新企画

## 一般の方向けのコーナー

今回の岡放技ニュースより、一般の方向けのコーナーを新たに設けました。ここでは、医療現場で使われてる放射線の事や、被ばく相談の事例など、放射線や、診療放射線技師の仕事、役割について、一般の方にわかり易く紹介していきます。

今回は、放射線を利用した検査の被ばくについてです。

## ～放射線を利用した検査の被ばくについて～

医療施設では放射線を利用したいろいろな画像検査がおこなわれています。これらはケガの程度や病気を調べるために大変重要な検査です。

## CT検査



X線を利用した検査

## RI検査



ガンマ線などを利用した検査



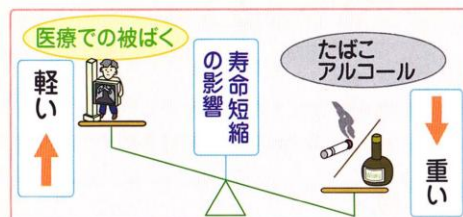
放射線というと原爆や原子力発電所の事故などから「きけん」とか「こわい」といったイメージが浮かんできます。確かにその利用方法を誤って大量に被ばくをすれば、白血病・発ガン・胎児の奇形などが起こる可能性があります。



私達は、気付かないのですが、実は自然界から常に放射線を受けています。この自然界から1年間に受ける放射線の量に比べると、病院などで受ける放射線の量は、一般的に、胸やお腹のレントゲン検査では数十分の一以下、CTや胃のバリウム検査でも10倍程度と考えられます。これらはガンや白血病の発生する危険性が高くなる線量に比べてもとても小さな値です。しかも、画像検査では診断に必要な部分にしか照射されないように注意がはらわれているため、その心配はきわめて低いと考えられます。



また、外国の論文では平均寿命を短縮させる危険性について比較したものが発表されています。「たばこ」、「アルコール」、「交通事故」や「肥満」などに比べて画像検査で被ばくを受けることによる寿命短縮の影響は、はるかに小さく軽いものと考えられています。



さらに、画像検査では放射線に被ばくするという不利益に比べて、患者さんの病気を発見するという、はるかに大きな利益があります。私たちは、画像検査の利益を最大限に引き出すために、患者さんの被ばくを最小限に抑えながら正確で豊富な情報を提供する努力をしています。

## 画像検査の有益性

診断 ➡ 被ばく



撮影条件  
OK!



現在の日本の医療施設では、「医療被ばくガイドライン」などによる適正な管理のもとに放射線の安全な運用がなされています。したがって、病院などでの画像検査については、安心して受けていただくことができます。

社団法人岡山県放射線技師会平成25年度年間行事(予定表)

←岡山県放射線技師会(OART)関連      ←日本放射線技師会(JART)関連      2012.11.29(木)現在

2013年

01月

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

11

12

13

14

15

16

17

18

19

20

21

22

23

24

25

26

27

28

29

30

31

火

水

木

金

土

日

月

火

水

木

金

土

日

月

火

水

木

金

土

日

月

火

水

木

金

土

日

月

火

水

木

金

土

日

月

火

水

木

金

土

日

月

火

水

木

金

土

日

月

火

水

木

金

土

日

月

火

水

木

金

土

日

月

火

水

木

金

土

日

月

火

水

木

金

土

日

月

火

水

木

金

土

日

月

火

水

木

金

土

日

月

火

水

木

金

土

日

月

火

水

木

金

土

日

月

火

水

木

金

土

日

月

火

水

木

金

土

日

月

火

水

木

金

土

日

月

火

水

木

金

土

日

月

火

水

木

金

土

日

月

火

水

木

金

土

日

月

火

水

木

金

土

日

月

火

水

木

金

土

日

月

火

水

木

金

土

日

月

火

水

木

金

土

日

月

火

水

木

金

土

日

月

火

水

木

金

土

日

月

火

水

木

金

土

日

月

火

水

木

金

土

日

月

火

水

木

金

土

日

月

火

水

木

金

土

日

月

火

水

木

金

土

日

月

火

水

木

金

土

日

月

火

水

木

金

土

日

月

火

水

木

金

土

日

月

火

水

木

金

土

日

月

火

水

木

金

土

日

月

火

水

木

金

土

日

月

火

水

木

金

土

日

月

火

水

木

金

土

日

月

火

水

木

金

土

日

月

火

水

木

金

土

日

月

火

水

木

金

土

日

月

火

水

木

金

土

日

月

火

水

木

金

土

日

月

火

水

木

金

土

日

月

火

水

木

金

土

日

月

火

水

木

金

土

日

月

火

水

木

金

土

日

月

火

水

木

金

土

日

月

火

水

木

金

土

日

月

火

水

木

金

土

日

月

火

水

木

金

土

日

月

火

水

木

金

土

日

月

火

水

木

金

土

日

月

火

水

木

金

土

日

月

火

水

木

金

土

日

月

火

水

木

金

土

日

月

火

水

木

金

土

日

月

火

水

木

金

土

日

月

火

水

木

金

土

日

月

火

水

木

金

土

日

月

火

水

木

金

土

日

月

火

水

木

金

土

日

月

火

水

木

金

土

日

月

火

水

木

金

土

日

月

火

水

木

金

土

日

月

火

水

木

金

土

日

月

火

水

木

金

土

日

月

火

水

木

金

土

日

月

火

水

木

金

土

日

月

火

水

木

金

土

日

月

火

水

木

金

土

日

月

火

水

木

金

土

日

月

火

水

木

金

土

日

月

火

水

木

金

土

日

月

火

水

木

金

土

日

月

火

水

木

金

土

日

月

火

水

木

金

土

日

月

火

水

木

金

土

日

月

火

水

木

金

土

日

月

火

水

木

金

土

日

月

火

水

木

金

土

日

月

火

水

木

金

土

日

月

火

水

木

金

土

日

月

火

水

木

金

土

日

月

火

水

木

金

土

日

月

火

水

木

金

土

日

月

火

水

木

金

土

日

月

火

水

木

金

土

日

月

火

水

木

金

土

日

月

火

水

木

金

土

日

月

火

水

木

金

土

日

月

火

水

木

金

土

日

月

火

水

木

金

土

日

月

火

水

木

金

土

日

月

火

水

木

金

土

日

月

火

水

木

金

土

日

月

火

水

木

金

土

日

月

火

水

木

金

土

日

月

火

水

木

金

土

日

月

火

水

木

金

土

日

月

火

水

木

金

土

日

月

火

水

木

金

土

日

月

火

水

木

金

土

日

月

火

水

木

金

土

日

月

火

水

木

金

土

日

月

火

水

木

金

土

日

月

火

水

木

金

土

日

月

火

水

木

金

土

日

月

火

水

木

金

土

日

月

火

水

木

金

土

日

月

火

水

木

金

土

日

月

火

水

木

金

土

日

月

火

水

木

金

土

日

月

火

水

木

金

土

日

月

火

水

木

金

土

日

月

火

水

木

金

土

日

月

火

水

木

金

土

日

月

火

水

木

金

土

日

月

火

水

木

金

土

日

月

火

水

木

金

土

日

月

火

水

木

金

土

日

月

火

水

木

金

土

日

月

火

水

木

金

土

日

月

火

水

木

金

土

日

月

火

水

木

金

土

日

月

火

水

木

金

土

日

月

火

水

木

金

土

日

月

火

水

木

金

土

日

月

火

水

木

金

土

日

月

火

水

木

金

土

日

月

火

水

木

金

土

日

月

火

水

木

金

土

日

月

火

水

木

金

土

日

月

火

水

木

金

土

日

月

火

水

木

金

土

日

月

火

水

木

金

土

日

月

火

水

木

金

土

日

月

火

水

木

金

土

日

月

火

水

木

金

土

日

月

火

水

木

金

土

日

月

火

水

木

金

土

日

月

火

水

木

金

土

日

月

火

水

木

金

土

日

月

火

水

木

金

土

日

月

火

水

木

金

土

日

月

火

水

木

金

土

日

月

火

水

木

金

土

日

月

火

水

木

金